

### 就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	株式会社サンライズコーポレーション ひまわり	事業所番号	2010201339
住所	長野県松本市高宮中2-29 アイク事務所2F	管理者名	堀江夏樹
電話番号	0263-87-1316	対象年度	令和6年度

#### 地域連携活動の概要

**<活動内容>**

- 活動場所(提携企業様): 有限会社PIP様
- 実施日程:(月)~(金) 9:00~14:00(利用者はシフト勤務)
- 実施した生産活動・施設外就労の概要:  
PIP様において、企業様が製造・出荷をする包装・パッケージ資材の加工・検品、包装等の業務を時に行う。  
従業員様と共に作業を行う事も度々ある。
- 利用者数: 最大3名

**<目的>** ●地域連携活動のねらい

○利用者が施設外就労に協力して下さる企業様で働かせて頂く事で、一般企業で仕事をするという「雰囲気」を体感することにより、働く意識の修得、また、向上を目指している。並びに、従業員の皆様と共に働く機会を頂くことで「障がいを持っていても最低賃金をもらっている以上、従業員様と同等に働く」という意識や、「自分は障がい者だから」という所謂「内なるバリア」から解放する意識も視野に入れている。

○協力企業様においては、従業員様が利用者と同じ敷地内・また、同じチームで働くことにより、固定観念として存在するであろう障がい者へのイメージの払しょく並びにノーマライゼーションの普及に貢献できれば、と考えている。

**<成果>**

- 実施した結果・成果・課題

○ひまわりが企業様にて施設外就労をさせて頂くことで、利用者は経験の中で以下のことを学び、

- 意識付けが出来つつある
  - ・挨拶の重要性 (企業様からの印象を高めることも含め)
  - ・報告・連絡・相談やおわび・お礼の重要性
  - ・自分自身が組織の中で働く、ということ(組織性・集団性・社交性など)
  - ・効率性等を考えた上での仕事
  - ・(従業員様と共に働くことで)時給に対しての自身の勤務についての振り返り など

○課題は、利用者一人一人に上記の理解・意識付けに幅があること並びに、理解をしたとしてもそれらをスムーズに実践することについての差が見られ、支援を通して利用者間の差を埋めて行くのが今後の課題と言える。

**<活動の様子>**

- 化粧箱に機械で金箔文字を打ち付ける作業



- 完成品の包装作業 →
- 箱作り(底面部の底折り)作業




#### 連携先の企業等の意見または評価

- 利用者一人一人がここで成長をしており、頼もしさを感じる。
- 課題として、例えば検品の際に「良い」「悪い」の判断に時間がかかっており、それらについての見極めができるようになってくれたら、と思う。
- 今後弊社とひまわりが、よりチームワークを組みそれぞれが役割を持って仕事を行っていく中で、
  - 利用者一人一人が障がい等を含めた自分の能力や自分の仕事における自身の力量(作業理解・器用不器用・得手不得手・効率等を考える力 など)の更なる理解を深めてもらいたい。
  - 支援者が障がいについての知識や、上記について伝えられる範囲で弊社にアドバイスを頂きたい。
  - 弊社が上記についての理解を深め、利用者に対して適切な仕事の役割を行い、組織として仕事を効率的に回していけるようにしていきたい。
 以上のように考えている。

連携先企業名	有限会社 PIP	担当者名	代表取締役 長谷川 朝野
--------	----------	------	--------------